

2022年「障がい者週間」 11月13日(日)～19日(土)

「障がい者週間」の集い

「支え合う『いのち』」

聖句：ローマの信徒への手紙 12章 15節

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。」



(止揚学園の子どもたちの絵)

① 証・講演

講師：吉岡卓さん(障がいを負う人々・子どもたちと
共に歩むネットワーク副代表)

② 交わり

日時：2022年11月19日(土)13時～15時半 zoomにて開催

文字による情報提供と手話による情報提供の用意がございます。

点字資料の必要の方は、ご連絡ください。

申込み・問合せ先：北村 智史(日本キリスト教団・東京府中教会)

e-mail:dudfv705@yahoo.co.jp

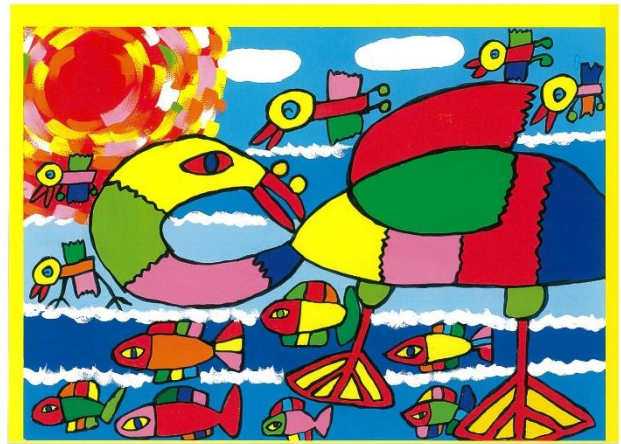
主催：NCC「障害者」と教会問題委員会

(スケジュール)

13:00~13:05	開会祈祷
13:05~14:05	講演
14:05~14:25	休憩
14:25~15:25	交わり
15:25~15:30	閉会祈祷

(講演の趣旨)

今回は、先天性の身体障がい生きてきた私の幼少期から前半生の歩み、30代終盤からの私に大きく影響を与えた精神疾患である複雑性 PTSD 発症後の苦悶と葛藤の日々の中で考え気づかされてきたことを中心にお話したいと考えております。そして2016年に起きた相模原障がい者殺傷事件にはっきり顕れた優生思想。これに私たちはどう向き合い生きていったらよいのか。この社会の中で障がいを持つ者と持たない者との間で共に生かされ歩むということの意味に対する私なりの経験と信仰的思索からお分かちしたいと考えております。(吉岡卓)



(止揚学園の子どもたちの絵)

(「障がい者週間」の集いのごあんない)

1981年、国連「国際障がい者年」の「完全参加と平等」の呼びかけに気づかされ、励まされてNCC「障害者」と教会問題委員会の働きは続けられて来ました。神によって与えられた人間のいのちと平等を、明らかにされて説かれるべき教会においても、さまざまな、偏見や差別の壁がなお厚くあることをも認めながら、その教会の改善を求めて働くこと、またさまざまな社会的、政治的状況のもとで、「障がい者」の立場からの必要な発言をし、「平和・平等・共存」への働きに努めることを目的としています。皆さんと共に平和と和解の祈りと協同をささげたいと思います。ご理解とご協力をお願い致します。

「障がい者週間」の祈り

神さま、私達みながイエス・キリストの体である教会の交わりに共に招かれていることを感謝致します。あなたから計り知れない命の恵みを与えられながら、差別し合ったり、偏見をもって互いを受け入れることができずにいます。

権力や武力などの強さに頼り、経済優先の考え方によって人間の価値を決める社会や教育、偏見やゆがんだ習慣を作りだしてしまっている罪をお赦してください。

どうか私達があなたのみ言葉に従い、声なき声にも真に耳を傾け、互いに聴き合い、差別のない社会を作り出してゆくことができますように。知恵と勇気と信仰をお与えてください。

ことに「障がい」を負う人々と共にイエス・キリストの和解と平和の福音を伝え、全ての人々が生きる喜びを見出すことのできる社会を作って行くことができますように。私達の主イエス・キリストのみ名によってお祈りいたします。アーメン。